令和7年度核融合科学研究所技術研究会の開催にあたって

科学技術の高度化、多様化に伴い、大学・高等専門学校、大学共同利用機関等における技術職員の専門性と実務能力が研究現場の質を左右する存在となってきています。時代の要請に応えるため、技術職員の向上心を高めるとともに、より高度で実践的な経験に触れる機会を提供することを目的として、技術研究会を開催いたします。本技術研究会を通して、技術力の向上と相互交流を図ってまいります。

技術研究会は、昭和51年に分子科学研究所にて第1回が開催されました。その後は、分子科学研究所、高エネルギー加速器研究機構、核融合科学研究所の3研究所による持ち回り開催となり、平成15年には東京大学で「総合技術研究会」と称した技術研究会が開催されました。これを契機に3研究所と大学が隔年で開催する体制が整い、今後一層の発展が期待されています。

核融合科学研究所での技術研究会開催は、前身である名古屋大学プラズマ研究所時代を含めると今回で11回目となります。令和3年度に実施された前回の技術研究会は、新型コロナウイルスによる影響でオンライン開催となりましたが、今回は8年ぶりにオンサイトでの開催となります。対面ならではの活発な議論と交流の場となることを期待しています。また研究会2日目には施設見学を予定しています。見学では世界最大級の超伝導プラズマ閉じ込め装置である大型ヘリカル装置(LHD)をご覧いただけます。平成9年度に運転を開始して以降、四半世紀にわたって多くの研究成果を挙げてきたLHDですが、本年度をもって運転を終了いたします。世界の核融合研究を牽引してきたLHDを是非目に焼き付けていただけたらと思います。

最後になりますが、各関係機関等の長の方、および技術職員の管理監督者各位におかれましては、所属技術職員の参加について御配慮いただけますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年10月1日

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
核融合科学研究所長 山田 弘司

令和7年10月1日

関係各位

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
核融合科学研究所 技術部長 林 浩己

令和7年度核融合科学研究所技術研究会開催のご案内

標記研究会を以下の通り開催いたします。関係各位のご参加を心よりお願い申し上げます。

記

1. 研究会の趣旨

本研究会は、国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校及び大学共同利用機関法人等の技術職員が、日常業務で携わっている実験設備・装置の開発、維持管理の話題から改善改良の話題にわたる広範囲な技術活動について発表する研究会です。発表内容も通常の学会とは異なった日常業務で生まれた創意工夫、苦労話、失敗談等も重視し、技術職員の交流と技術の向上を図ることを目的としております。

2. 開催概要

開催日	令和8年3月5日（木）、6日（金）
会場	多治見市産業文化センター （岐阜県多治見市新町1丁目23番地）
参加対象	全国の大学・高等専門学校および大学共同利用機関法人等に所属する技術系職員
参加費	2,000円
情報交換会 参加費	5,000円（税込）

3. プログラム (予定)

(1) 令和8年3月5日 (木)

- 12:00～ 受付開始
- 13:00～18:00 開会式、特別講演、口頭発表、ポスター発表
- 18:00～20:00 情報交換会

(2) 令和8年3月6日 (金)

- 9:00～12:00 口頭発表、技術交流会
- 13:00～16:00 施設見学会

4. 開催分野

各分科会が対象としている技術分野の分類は、次のとおりです。発表者は、この分類を参考にして該当する分科会を御指定ください。

なお、応募数や内容に応じて、発表形式や分科会を変更していただく場合がございますので、予めご了承ください。

(1) 工作技術

加工技術全般、実験装置の設計・製作・組立、ガラス・セラミック工作、等

(2) 装置技術

実験装置技術 (運転保守含む)、研究施設に関する技術 (建物、設備等)、安全管理技術、真空技術、放射線関連技術、高信頼化技術、等

(3) 計測・制御技術

自動化及び省力化技術、メカトロニクス、回路技術、信号処理技術、機械学習、等

(4) 極低温技術

超伝導・低温技術、低温機器設備の保守・管理、高圧ガス関連、等

(5) 情報・ネットワーク技術

コンピュータシステム運用管理、アプリケーション開発、ネットワーク運用、情報セキュリティ、データベース、クラウドサービス、等

5. スケジュール

令和7年10月 1日 (水)	参加申込開始
令和7年12月 5日 (金)	発表者参加申込・要旨提出期限
令和8年 1月30日 (金)	聴講者参加申込期限、施設見学申込期限
令和8年 2月 5日 (木)	参加費、情報交換会費、弁当代振込期限
令和8年 2月20日 (金)	報告書原稿提出期限

6. 技術研究会W e b サイト

令和7年度核融合科学研究所技術研究会に関する詳細情報は、下記W e b サイトより御確認ください。

<https://indico.nifs.ac.jp/e/tech2026>

7. 参加申し込み方法

研究会（発表・聴講）の参加申込は、本技術研究会W e b サイトからお願いします。

8. 発表について

(1) 発表に際してのお願い

発表内容や構成は、日常業務から生まれた創意工夫及び苦労話、失敗談などを積極的に取り込み、他参加者のその後の業務に大いに参考になるよう御留意くだされば幸いです。

(2) 要旨

発表者は、参加申込と同時に要旨（200字程度）を御提出ください。提出いただいた要旨は本技術研究会W e b サイト上に掲載いたしますので御了承ください。

(3) 発表形式

口頭発表	講演 15分 質疑応答 5分 P Cによるプロジェクター投影
ポスターセッション	掲示板サイズ 縦180cm、横90cm 発表時間 60分（30分で発表者入替）

9. 報告書について

(1) 投稿方法

投稿は本技術研究会W e b サイトより御提出ください。

(2) 公開について

御提出いただいた原稿につきましては、本技術研究会W e b サイトでの公開と共に技術研究会報告集データベース (<https://techsv.ims.ac.jp/>)へ登録し公開させていただきます。

10. その他

(1) 旅費について

参加者の旅費については所属機関において御用意くださるようお願いいたします。

(2) 施設見学について

2日目(3月6日)の分科会終了後に核融合科学研究所の見学会を行います。希望者は研究会参加申し込みの際に参加の有無を御入力ください(放射線に係る管理区域への入域があります)。本技術研究会Webサイトからの事前申し込みのみとします。なお、行きは多治見市産業文化センターから研究所まで、帰りは研究所から多治見駅まで、送迎バスを運行いたします。スケジュール等は本技術研究会Webサイトに掲載いたします。

(3) 個人情報について

発表及び参加申し込みで収集した個人情報は、原則として本技術研究会の運営のみに使用します。例外として、次回以降に開催される技術研究会の開催案内の連絡に用いられる条件に限り、参加者の氏名及び所属、Eメールアドレスの情報を主催の実行委員会に譲渡する場合があります。

以上